

首都圏

つるおか会

会報 第23号

発行 首都圏鶴岡会



ユネスコ
食文化創造都市
鶴岡
UNESCO Creative City
of Gastronomy



首都圏鶴岡会の皆様こんにちは。昨年九月、小林武会長の後を引き継ぎました坂田敬一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

現在、新型コロナウイルスの影響で日本だけでなく全世界がこれまで通りのことができず、経済をはじめ社会生活が大きな打撃を受けています。皆さんも気楽に鶴岡へ帰れないのではないかでしょか。

私は鶴岡市鷹匠町で生まれ、高校卒業まで遊び育ちました。高校卒業までの思い出はいろいろあります。誰かと昔のことを語りたいと思っても、暗くなるまで駆け回り遊んだ友とはなかなか会えません。

しかし、小学校や中学・高校の同窓会等では共通の話題で戻り、楽しく一緒に語ることができます。私は中学から柔道を始め、その後は柔道漬けでした。高校・大学さらに高校で道が戻りました。柔道仲間とは現在も楽しい時間を過ごすことができました。

総会に来てみて良かつた。また次回も参加しようと思つています。会員の皆様、来年は、ご家族と一緒に来てみませんか。お待ちしています。



会長挨拶

現在、多くのふるさと会でございます。組織があるということは必ずつながりができます。横に縦に、つまり同級生や先輩と後輩、ふるさと会では近所の人たちとも思い出話ができます。さらに、鶴岡会では高校の枠を超えて、ふるさと会の枠を超えた広がりを持ち、新しい友人を得ることができます。



出席者による「雪の降るまちを」合唱

第23回 首都圏鶴岡会総会

開催日 令和元年9月29日(日)
場所 タワーホール船堀



岡部 次樹
(実行委員長)

第二十三回首都圏鶴岡会総会の実行委員長、岡部次樹と申します。無事に大役を務めさせていただきました。これがどうございました。これも会員の皆様、そして鶴岡市東京事務所の皆様のお力によるものと心より感謝申しあげます。

今回の講演会は鶴岡出身で都立の名門と言われている千代田区立麹町中学校で校長先生をしている工藤勇一氏より「学校教育を本質から問い合わせる」をテーマにして講演をしていただきました。

講演のなかで先生は「教育の目的は自立した人材を育てる場所が学校である」という信念を持つて学校教育を見直し、今までに当たった宿題、定期試験の廃止を行い、定期試験のかわりに単元テストを採用することで生徒の学力を上げます。

アトラクションは、阿部千之さんと林田千佳さんによるアトラクションでした。

総会は小林会長の手慣れた進行により議案事項の審議、報告などが行われ、承認されました。役員改選では小林会長が退任され相談役に、新会長として理事の坂田敬一さんが選出されました。小林相談役には記念品と花束が贈られました。

定着しているこの会も年々参加者が減ってきています。会員の皆様、是非誘い合つて集まり庄内弁で話せるこの会を楽しみましょう！



阿部千之さんと林田千佳さんによるアトラクション

 庄内銀行 東京支店(中央区日本橋室町) 吉祥寺支店(武蔵野市吉祥寺)
地元企業エル・サングループ お気軽にお問い合わせください！ 葬祭会館 アク・サン ご葬儀 事前相談 承っております。 アク・サン 鶴岡・本町・大山・余目・あつみ HP: http://www.aqsun.jp TEL.0120-91-5002

総合保険事務所 オフィス勝どき 代表 大泉 正 (日本FP協会会員、相続診断士) 取扱保険会社 メットライフ生命・東京海上日動 〒104-0054 東京都中央区勝どき6-3-1-3422 TEL 03-6794-1208 FAX 03-6734-0498 フリーフォン 0800-080-1208 Eメール oizumi.masashi@mt-kachidoki.jp
 株式会社 ホコマ電機 取締役会長 本間 俊三 〒252-0302 相模原市南区上鶴間1-12-1 TEL: 042-746-1616

鶴岡市友好都市 江戸川区のコミュニティ施設 グリーンパレス 〒132-0031 東京都江戸川区松島1-38-1 TEL 03-3651-2228 http://www.greenpalace-matsuya.com
第二のふるさとを大切にしています。 江戸川大山会 会長 長岡 利夫

記念講演 千代田区立麹町中学校 工藤 勇一 校長（講演当時）



【講師プロフィール】

1960年 山形県鶴岡市生まれ。東京理科大学理学部応用数学科卒業。
山形県公立中学校教員、東京都公立中学校教員、東京都教育委員会、
目黒区教育委員会、新宿区教育委員会教育指導課長を経て、2014年から現職。

2017年～ 経済産業省「未来の教室とEdTech」研究会委員

2018年～ 内閣官房教育再生実行会議委員

＜主な著書＞

「学校の『当たり前』をやめた。」（時事通信社、2018）

「非常識な教え」（SBクリエイティブ、2019）

「子どもが生きる力につけるために親ができること」（かんき出版、2019）など



講演会の様子



懇談会にて



山伏による奉仕



加いたとき、参加者と交流を深められました。

最後に、麹町中学校の目指す教育目標は「自立・尊重」として、「自分で考えて自分で行動すること」、「人を尊重したこと」の二つを基盤にした教育が必要であることを、現在の国際化、グローバル社会がより一層進む中では、これまでの画一的な教育から多様な教育へ、多様な子どもたちに個別最適化した教育を行うことによって、多様な人材を生む教育にしていかなければならぬ、と締めくくられ、講演は終了しました。

現在の取組について一つ一つ丁寧に説明されました。さらに、麹町中学校の独自の取組として、学習カリキュラムの変更や民間企業と連携した事業（学校の購買部の経営や修学旅行のプラン作成）などもご説明いただきました。



皆川市長の挨拶

庄内の歴史、文化、民俗資料展示
公益財団法人 チドウ 致道博物館 鶴岡市家中新町 10-18 電話 0235-22-1199
出羽庄内地域文化情報誌 Cradle 通話料無料 TEL : 0800-800-0806

電子版スタートしました!!好評受付中!!



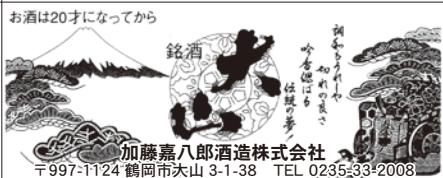
シングルプラン
(電子版のみ)
2,200円/月(税込)

お問い合わせ tel.0235-22-1480
<http://www.shonai-nippo.co.jp/>

学生を伸ばす、地域の未来を創る、世界に挑む大学づくり

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

経営|政策|地域福祉|国際教養|観光・まちづくり|メディア情報
〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1 **TEL** 0120-41-0207



特別寄稿コーナー～鶴岡への想い～

首都圏鶴岡会は平成9年に発足し、これまで様々な活動を行っております。

平成15年には、戦時中に江戸川区から鶴岡市に学童疎開された方が、鶴岡会に入会してくださいました。このご縁により江戸川・鶴岡の交流演奏会「第九を歌う会」が生まれ、毎年江戸川と鶴岡で交互に公演されております。昨年は、学童疎開75周年記念行事が鶴岡市主催で行われ、理事の長岡利夫、志水幸人両氏に寄稿をお願いいたしました。

令和二年八月十五日、終戦の年七十五周年を迎える。山形県西田川郡大山町大工町の上空は夏の碧空が拡々の快晴。八月十五日に畏れ多くも天皇陛下の玉音放送に当たり、私の学童疎開ご家庭・鈴木勝三郎・鶴岡み慈母宅前の加茂街道上に緊張してラジオ放送をお待ち申し上げた。

残念ながら音声が低悪かつ天皇のお詞が難解で理解に及ばない。玉音放送が終わり、鶴岡の外貌は平素の温かな表情と異なり憤怒の形相に「日本が戦争に負けた」と直感した。

想えば太平洋戦争とは戦争指導者等が精神力と面子で、巨大な物量に勝り科学的な米国に日本の勝利は絶対的

に天皇の御詞が難解で理解に及ばない。玉音放送が終り、鶴岡の外貌は平素の温かな表情と異なり憤怒の形相に「日本が戦争に負けた」と直感した。

昭和二十年三月九日・十日、帝都東京は米戦略爆撃機79機が超低空で侵入、焼夷弾攻撃に下町一帯は紅蓮の炎に廃墟に帰し、犠牲者十万人に及ぶ。

被災の惨状に両親は、私の学童疎開参加同意に転じた。大山町での疎開生活は鈴木勝三郎・鶴岡み慈母の温情に感謝しご家庭との交流を重ねて今日に至っている。将に

の学童疎開参加同意に転じた。大山町での疎開生活は鈴木勝三郎・鶴岡み慈母の温情に感謝しご家庭との交流を重ねて今日に至っている。将に

望的であつた。事実、開戦後の昭和十七年六月七日、ミッドウェー海戦で日本海軍は敗走し僅か六ヶ月で勝敗が決した。

昭和二十年三月九日・十日、帝都東京は米戦略爆撃機79機が超低空で侵入、焼夷弾攻撃に下町一帯は紅蓮の炎に廃墟に帰し、犠牲者十万人に及ぶ。

被災の惨状に両親は、私の学童疎開参加同意に転じた。大山町での疎開生活は鈴木勝三郎・鶴岡み慈母の温情に感謝しご家庭との交流を重ねて今日に至っている。将に



太平洋戦争と
学童疎開
首都圏鶴岡会 理事
江戸川大山会 会長
長岡 利夫

私の心の故郷である。首都圏鶴岡会とのご縁は、平成十五年七月十六日付け倉田正会長名書簡での理事委嘱辞令を押し十七年の歳月を重ねるも無力を恥じてゐる。

令和元年五月二十四日、

鶴岡市ご主催による学童疎開七十五周年交流会が鶴岡市東京第一ホテル鶴岡で開催され、疎開児童十五名が参加した。鶴岡市から皆川治市長をはじめ疎開諸関係者の皆様等約八十名のご臨席を賜わり、華やかな歓迎交流会の宴に融和し歓びを味わうことが適いました。

特に鶴岡市東京事務所に勤務ご活躍なされた歴代各所長との笑顔の挨拶と歓談、そして酒盆を重ねるに、私は幸福に恵まれた将に果報者であつたと痛感した。

学童疎開七十五周年歓迎・

庄内の地魚・旬の食材たっぷりの蒲鉾

庄内の地魚・旬の食材たっぷりの蒲鉾

滝川力まほ三店

㈲竜泉・滝川 〒997-0034 鶴岡市本町1丁目8-27
TEL 0235-22-0281

手造りの味
つけもの処 本長

〒997-1124
山形県鶴岡市大山1-7-7
フリーダイヤル 0120-330-878
FAX 0235-33-0878
http://www.k-honcho.co.jp
鶴岡駅前:本長商店 TEL0235(22)0616

出羽路庄内の名産品はおまかせください

鶴岡地区物産協同組合



〒997-0028 山形県鶴岡市山王町3-14
TEL:0235-64-8701 FAX:0235-64-8702
E-mail:bussankimiai@angel.ocn.ne.jp

農薬・化学肥料を使わず安全で美味しい

白山だだちゃ豆
富樫藤左工門

〒997-0841 山形県鶴岡市白山丁33

HP: <http://www.touzaemon.com>



御購入の際はホームページより特別会員としてご購入ください。特別会員のパスワードは 8888 です。

首都圏鶴岡会理事
新穂会 会長

志水幸人

二十六日まで、山形県鶴岡市に行きました。それは学童疎開をして七十五周年を記念しての行事があつたからです。

集会が持たれました。私としては、三つのお願ひがあ
りました。

その一番目は、「旧新穂館跡」を訪ねたい、二番目は「般若寺」新穂新兵衛さんと千代乃さん(ご夫人)の「お墓」のお参り、そして三番目は「朝暘第四小学校」へ行きました。

鶴岡事務所の白井所長に以上三点をお願いしましたところ、所長から上野さんをご紹介いただき、上野さんは二十六日に文字通り案内をしていただき、ありがとうございました。十分



思い出になりました。また、参加したくてもできないうえに、方々がおられることも忘れてはいけません。

その日の晩も、「金峯山
グループの仲間たちがいた
こともあつて、大変楽しく
過ごすことができました。

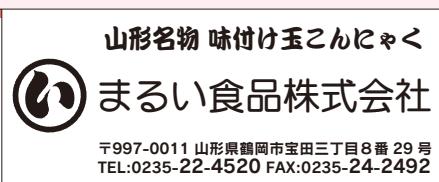
一月に江戸川区で開催された鶴岡市後援「茨木のり子の詩から知る平和と友好の

「紅」の会(※)で再会でき
また新たにつながりができ

最後になりましたが、鶴

岡市での詫念行事では、関係各所の方々をはじめ、大変お世話になりました。山形新聞の記事で見出しに「第二の古里」を実感いたしました。ここで改めて感謝したいと思います。

※編集部注 「茨木のり子の詩
から知る平和と友好の絆」の
会は、志水幸人さんのご子息・
幸生さんが主催者のお一人。



令和元年度

ふるさと訪問ツアーリポート 笹原悦子

体験記

(リポーター 笹原悦子)

首都圏鶴岡会設立からの会員ですが、旅行に参加したのは五回目になります。この度のツアーハーは、鶴岡天神祭への参加と鶴岡で行う江戸川区学童疎開七十五周年交流会に出席することでした。

東京から観光バスという時もありましたが、この度はJRで二泊三日、十名での旅です。新潟での乗換えも同じホームになつて大変楽になり、鶴岡に着きました。駅には市の職員の方々が出迎えてください、これら私達は市のマイクロバスでの移動になります。一日目は、バイオサイエンスパーク内のホテルで昼食を摂り、その後新しい施設などを見学し、鶴岡の変化に感心したり、菅家の庭園に行き貴重なものを見せていただき歴史を感じました。その夜、東京第一ホテル鶴岡での江戸川区学童疎開七十五周年記念交流会に、江戸川からも二十余名出席して、鶴岡との合唱による市民歌で歓迎されました。

二日目は、善寶寺の五百羅漢堂を見て、それから天満宮では天狗舞や獅子舞を見学して、楽しみにしていた江鶴亭での昼食です。彩り豊かな弁当で懐かしい、この日限定の「おでんじはんのごつつお」を大変おいしくいただきました。

江戸川・鶴岡の交流演奏会「第九を歌う会」は、疎開された方たちが鶴岡会へ入会してくれたことが縁で生まれ、長年続いております。また当時の思い出などを聞いて、私も同年代なので感慨深いものがあります。生まされた。この日は湯田川温泉に宿泊です。夜、食事をしながら湯田川神樂を見ました。



天神祭の衣装に着替えて記念撮影

ここで江戸川の方達と合流し、天神祭の衣装に着替えてパレードに参



羽黒山五重塔の前で記念撮影

三日目は、羽黒山の五重塔の中を見てから、知恵軒で郷土料理の昼食を摂り、その後注連寺の即身仏や天井画を見学して、いよいよ帰り支度です。物産館でお土産をたくさん買って駅に向かいました。駅では、職員の方や知人たちに見送られ、別れを惜しみながら帰途に着きました。

同行の皆様にはお世話になり有難うございました。時には故郷の風を感じる旅もいいなと思いました。

加します。お天気も良くお酒やジュークを持つて注いで廻るのです。市民の方達とのふれあいは楽しかったのですが、道中が長く大変疲れました。この日は湯田川温泉に宿泊です。夜、食事をしながら湯田川神樂を見せていただき楽しみました。



クラゲ展示種類数世界一

山形県立鶴岡南高等学校 東京鶴翔同窓会 事務局〒116-0011 東京都荒川区西尾久5-7-25 TEL・FAX 03-3893-9876 (岡部方)	山形県立鶴岡北高等学校 如松同窓会東京支部 笑顔で会える日を楽しみに 事務局〒135-0021 東京都江東区白河 4-9-25-412 TEL/FAX 03-6240-3795
山形県立鶴岡中央高等学校 黎明同窓会関東支部 事務局〒165-0025 東京都中野区沼袋1-41-2 TEL・FAX 03-3389-1894	山形県立鶴岡工業高等学校 城畔同窓会関東総支部 事務局〒351-0011 埼玉県朝霞市本町1-15-4 TEL・FAX 048-462-3655

首都圏鶴岡会 新理事のご紹介

この度、首都圏鶴岡会にお世話になりました、石川康博と申します。鶴翔同窓会を通して数年前から、「ただちや豆会」や「市政報告会」等の行事には参加する機会がありましたが、令和元年の同窓会総会の実行委員として活動していました。ある役員からお誘いを受け、入会するに至りました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は、小学校は「黄金小学校」ですが、中学は父の転勤により山形市（第四中学校）で卒業しました。この時点で次の転勤（仙台）がありましたが、私のみ鶴岡市（祖母と同居）に戻りました。

わずか三年ですが内陸で過ごした経験もあり、山形弁も多少は話せます。現在は、鶴岡市に両親（八〇代後半）が二人で暮らしている為、二～三ヶ月に一回程度は様子を見に帰省していると言った状況です。



石川 康博
出身: 高坂



伊藤 美津子
出身: 羽黒町



坂田 俊次
出身: 第三学区



佐藤 隆也
出身: 第五学区

岡南高校を卒業後進学のため上京し品川荏原、横浜山手と移り住み結婚を機に千葉市に居を構えました。同窓会には一度も出席することなく退職し、ひょんなことから二〇一八年の東京鶴翔同窓会総会に向けた実行委員の一員になつたことがきっかけで一昨年より東京鶴翔同窓会の事務局、はたまた昨年より首都圏鶴岡会の理事を務めさせていただいています。

定年時の通勤先と同じことも

あり、首都圏鶴岡会活動拠点の鶴岡市東京事務所のある西葛西はとても懐かしい場所です。実は通勤最終日に事務所を探しながら帰途についたのでしたがとうとう見つけられず仕舞いで心残りでした。

首都圏に住んではいるが、鶴岡への郷愁の念や懐かしさを感じるのは当たり前の事。鶴岡が消滅都市になるのは耐えられない。

鶴岡から離れて五〇年弱。自分が育つた鶴岡と今の鶴岡はどのように変わったのかを知ることにより、何かお手伝いが出来ればと思い理事をお引き受けいたしました。微力ながら努力いたしますのでよろしくお願ひ致します。

様々なご縁があります。大先輩たちが繋げてこられたことを大切にしながら将来に向け更なる発展の模索が続きます。決して若くはない「若手」ですが、皆さまよろしくお願ひ申し上げます。

二〇一四年八月に出版された「地方消滅」という本を覚えていますでしょうか。著者は現「日本郵政株式会社」社長の増田寛也です。その中身は日本が東京一極集中していき地方都市が消滅していくというものでした。鶴岡市はどうだつたのかというと、若年女性の減少率△52・5%で消滅可能都市となる。が、人口が八万八千人で規模が大きいという事で辛うじて「消滅可能性が高い」には免れていました。

おかげさまでこの度荘内日報社・東京支局を引き継ぐことになり、新たな環境で、ステキな人々との出会いの「縁」に感謝を込めて一生懸命務めてまいります。生まれ故郷を離れ、会員の皆さまが一同に会して交流を深め合う「場」にいられることが、の幸せ、喜びを大切にして共有し少しでもお役に立てられるようになります。お互いに培った経験で将来を語り合つて次世代につなげていく道を歩んでまいりたいと思います。ご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

首都圏鶴岡会 新規会員を募集しています！

「首都圏鶴岡会」では、一緒に活動していただける方を募集しています。

ご家族、ご友人、会社の同僚など、多くの方をお誘いください。

若い方（自称でも構いません）、大歓迎！

様々なイベントを通じて、同郷の仲間や、鶴岡が大好きな方とのつながりを深めませんか？

【活動内容】

ふるさと訪問ツアー、各種懇親会、その他各種お祭りやイベントへの参加 など

ふるさと会、高校同窓会に加入しませんか？

首都圏鶴岡会の他にも、市町村合併前の旧町村単位で「ふるさと会」、さらには、各高校の「同窓会」もあり、それぞれ活動が行われております。

ぜひご入会いただき、懇親を深めるとともに、故郷・鶴岡を盛り上げましょう。

ご興味のある方や入会を希望される方は、鶴岡市東京事務所までお問い合わせください。

【ふるさと会】

東京藤島会、東京羽黒会、首都圏櫛引会、首都圏庄内あさひ会、ふるさと温海会、東京尾浦会

【高等学校同窓会】

東京鶴翔同窓会（鶴岡南高校）、如松同窓会東京支部（鶴岡北高校）、城畔同窓会関東総支部（鶴岡工業高校）、黎明同窓会関東支部（鶴岡中央高校、旧鶴岡西高校、旧鶴岡家政高校）

令和2年9月27日（日）に予定しておりました、首都圏鶴岡会総会および鶴岡市市政報告会は新型コロナウイルスの影響を考慮し中止となりました。

その他のイベントにつきましても、例年から変更している場合がありますので、関連サイトなどからご確認ください。



会報編集委員

伊藤美津子 大泉 正 小林 武
櫻井 孝子 佐藤 隆也 菅 徹
若松 正秀

鶴岡市東京事務所 公式facebook



旬の情報を発信しています。
ぜひご活用ください。

お問い合わせ

首都圏鶴岡会事務局

〒134-0088

東京都江戸川区西葛西7丁目28番7号
鶴岡市東京事務所内

TEL 03-5696-6821

FAX 03-5696-6822

E-Mail

tokyo@city.tsuruoka.yamagata.jp

鶴岡市東京事務所 職員紹介

今年度もよろしくお願いいたします。お気軽にお越しください。



（所長）白井 覚



五十嵐 佳祐



伊藤 美紀夫



安藤 勝教



北川 茂子